

2022年4月22日

各 位

上場会社名 西華産業株式会社
(コード番号 8061 東証プライム)
代 表 者 代表取締役 社長 櫻井 昭彦
問合せ先責任者 専務執行役員 (企画管掌) 川名 康正
(TEL 03-5221-7117)

西華産業グループ 長期経営ビジョンの策定について

当社は、このたび、2030年に向けた長期経営ビジョン『VIORB 2030』を策定しましたので、お知らせいたします。

《長期経営ビジョンの概要》

1. ビジョンの名称・ステートメント

VIORB 2030

～地球環境と産業発展のためにわたしたちができることは～

気候変動への対策としてのカーボンニュートラルの取り組みなど「環境」をめぐる想いや動きは、わたしたち西華産業グループの主たる事業領域であるエネルギー関連や産業設備の分野においても大きなうねりとして現れはじめています。

わたしたちはこれを受け身で捉えるのではなく、この「環境」をめぐる変化の流れのなかこそわたしたちが能動的に貢献できるまたは貢献すべきことがあるはずと考え、2030年に向けた長期経営ビジョンをあらためて設定いたしました。

地球環境に寄り添いながら産業活動の更なる発展を援護する、それがアンビバレントでない形で実現されるよう、環境に好影響をもたらすまたは配慮した機能や性質を持つ設備・機器・製品の発掘と提供を柱に据えた取り組みを推進してまいります。

その成果のひとつとして、わたしたち自身の変革を伴った持続的成長があるということを信じて。

VIORB (ヴィオーブ) とは…

ラテン語の Vio (生きる、活発な、鮮やかな) と Orbis (円、地球) を組み合わせた造語であり、産業発展と地球環境との調和への取り組みを象徴する誓いの言葉です。

2. 持続的成長を図る基本戦略

(1) 当社の存在意義

エネルギーおよび産業のインフラ分野に強みを持つ商社を核とする企業グループとして、地球環境と調和したサステナブルなエネルギー創出・産業活動を支援して行きたい。

(2) 事業面での重点分野

- ① 「脱炭素」のユーザーニーズと技術革新を機敏に捉えビジネス化
- ② 「省エネ・省資源」に関する産業界の恒久ニーズへの支援を拡大
- ③ 「サーキュラーエコノミー」の進展・実現の動きへの対応を強化
- ④ 「デジタルトランスフォーメーション」を広義に捉え商機を探求

(3) 経営面での主要施策

- ① キャッシュマネジメントの仕組みの整備による資金余力の最大化
- ② 100 億円規模の事業投資による既存事業の深化と事業領域の拡張
- ③ SDGs に資すると判断される事業や活動を応援するため 10 億円のファンドを設定
- ④ 組織スリム化と生産性向上による重点分野への人的リソース投入
- ⑤ グループ各社毎の特性を踏まえた強みを明確にし経営資源を集中

3. 成果を測るための指標

「環境」の観点でどれだけの「価値」をユーザーひいては社会に提供できているか？

	2021 年度	2030 年度
グリーンイノベーション関連取扱高※	845 億円	1200 億円

※環境に好影響を与えるまたは配慮した機能や性質を持つ設備・機器・製品等の受注総額

4. 到達目標＝目論見通りの成長が得られた場合の業績数値試算（参考）

	2021 年度実績 (2022 年 3 月時点での予想)	2030 年度到達目標 (2031 年 3 月期)
売上高（連結）	855.0 億円	1250 億円
経常利益（連結）	36.5 億円	65 億円
当期純利益（連結）	20.5 億円	40 億円

以上